

令和6年度 第3学年 音楽科 学習の指針（シラバス）

1. 学習の目的（教科の目標）

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しめるようにする。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する力を身につける。

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none">○「校歌」○全校合唱曲、学年合唱曲○「花」 ○歌唱テスト ○鑑賞 能「敦盛」 ○「さびしいカシの木」	<ul style="list-style-type: none">・本校の歌であることを意識し、式典でも堂々と歌えるようにする。・情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして合唱する。 ・能や狂言に親しみ、その特徴を知る。・歌舞伎「勸進帳」と比較し、日本音楽の中のさまざまな種類や魅力の違いを味わう。 ・声だけでつくる響きの魅力を味わう。・和音の響きを感じ取り、自信をもって自分のパートを歌う。
2 学期	<ul style="list-style-type: none">○合唱コンクールに向けて （自由曲、学年合唱、全体合唱） ○定期テスト（筆記）○歌唱テスト ○鑑賞「ブルタバ」	<ul style="list-style-type: none">・学級ごとによりよい合唱になるように協力して取り組む。・曲調や歌詞の意味を意識し、ハーモニーを感じながら歌う。 ・標題と音楽の関係を感じ取り、情景をイメージしながら音楽を聴く。・オーケストラの楽器の表現の豊かさを感じ取る。
3 学期	<ul style="list-style-type: none">○「大地讃頌」 ○送る会の歌○卒業式の歌 ○歌唱テスト○定期テスト（筆記）	<ul style="list-style-type: none">・重厚な四部合唱の響きを感じて歌う。 ・声部のバランスを保ち、美しいハーモニーを目指す。・旋律の流れを生かし、感情を込めた表現の工夫をする。

3. 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	曲想と音楽の構造などとの関わりや、音楽表現を楽しむために必要な歌唱の技能を評価します。	歌唱テスト、定期テスト、鑑賞ワークシートなどで評価します。
思考・判断・表現	音楽表現を考えて表現に対する思いを持つことや、曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴く能力を評価します。	歌唱テスト、鑑賞ワークシートなどで評価します。
主体的に学びに向かう態度	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする態度を評価します。	毎回の授業の取り組みなどで評価します。

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

(1) 表現

- ① 範唱CD、先生の声、友達の声をよく聴いてまねて表現する。
- ② 失敗をおそれずに声をしっかりと出す。
- ③ 課題に積極的に取り組む。
- ④ パート練習に積極的に参加する。
- ⑤ 学級での歌声活動にも一生懸命に取り組み積み重ねを大事にする。

(2) 鑑賞

- ① 題材をよく理解する。
- ② 聴く時のポイント（ねらい）を捉えて聴く。
- ③ 日頃から様々な音楽に関心を持つ。
- ④ 自分の好みに捉われず、音楽の良さを感じ取って聴く。